



# 敬愛

令和3年6月25日

文責 輿石 信

第5号



「敷島中ホームページ」へ

## 確かな成長を刻みつつ、さらなる高みへ。

～6月 15・17 日：中巨摩支部総体、24 日：中巨摩陸上総体が行われました～

運動部の生徒にとっては練習の成果を発揮する大舞台である中巨摩支部総合体育大会が、過日（陸上 6/24、それ以外の競技 6/15・17）行われました。大会前の昼の放送での各部代表による決意表明では、「全力」、「悔いを残さない」、「先輩の悔しさを晴らす」、「支えてくれた人への感謝」等、総体に賭ける 3 年生の熱い思いが伝わってきました。

主な結果としては、女子バスケットボール部：第 1 位、ソフトボール部：第 2 位、女子ソフトテニス部：団体第 2 位をはじめ、多くの部が 7 月末の県総体への出場権を獲得することができました。その一方で、残念ながら県への「切符」を得られなかった部もありました。（詳細は学校ホームページに写真と共に掲載してあります。「学校通信」右上↑のバーコードをご利用ください）

昨今では「人生 100 年時代」と言われますが、長い人生の中で、自分の好きなことに時間を費やせる時期はそう長くはありません。こうしたことを考えると、中学校時代に好きなスポーツや文化・芸術等に部活動として打ち込めることは、自分を磨いていく上でとても大切な機会であると思います。スポーツは、時に、勝者と敗者という残酷な結果をもたらしますが、だからこそ、勝利を目指して、精神的、肉体的に苦しくとも、弛まぬ努力や精進を続けることができるものであると言えます。そして、その過程にこそ人間としての成長があります。

現在、テスト取組期間で部活動が小休止となっています。県総体へ向かう人も、部活動を引退する人も、新チームが始動する人も、一度立ち止まって、自分が部活動の中で得たことや学んだこと、自分の弱い所や課題を整理してみましょう。皆さんは、それぞれが個人やチームとしての目標を立て、勝利のために一生懸命頑張ったはずですが、しかし振り返ると、チャンスで力を発揮できなかった自分、試合の行方を決める大事な場面で勝ち切れなかった自分…。いろいろな反省点が見えてきます。できたこととできなかったことを整理し、できなかったことは、「なぜ、できなかったのか」その原因を考え、「できなかった」を「できる」に変えていく方法や取組を考え実行してください。『目標を立て(Plan)、実行し(Do)、振り返り(Check)、改善に取り組む(Action)』の P・D・C・A サイクルを、ぜひ身に付けてください。

皆さんは、総体という緊張感、緊迫感の中で自分の心と戦いながら勝利に向けて頑張りました。結果的に勝敗はつきましたが、この体験にこそ大きな価値があります。教室では学べないことだからです。しかし、そこから更に一歩進めて、体験を次に生かしていくこと、今回の反省を次回の成功へ導いていくことが大きな成長へとつながります。「体験」という一つ一つの点を「成長」という太い線にするのです。「点」を「線」に変えていくこと、それを可能にするのが P・D・C・A です。中学生の時期に、この習慣を身に付けておくと、勉強でも生活でも、高校生になっても大人になってからも大変役立ちます。成長が実感できることで人生が充実したものになるからです。「P・D・C・A」この言葉を頭の片隅に置いてください。



「部活動を引退する 3 年生へ」：3 年間お疲れさまでした。やり切った晴れやかさで心が満たされていますか。それとも、悔しさや後悔がこみあげてきていますか。いろいろな思いがあることでしょう。もちろん晴れは晴れで良しですが、悔しさや後悔が次の行動への強い原動力や推進力となるのです。ぜひ、今の思いをこれからの生活に生かしてください。それが、「点」を「線」にすることです。

そして、すべての「敷島中生へ」：確かな成長を刻みつつ、現状に満足せず、さらなる高みへ向かって、常に目標を定め、飽くなき向上心を持ち、地道な努力を重ねる人であってください。今後の皆さんに大いに期待しています。

